

福山都市圏における学校TFP展開の有効性とその継続効果の検討

○ 国土交通省 福山河川国道事務所
 広島県 東部建設事務所
 福山市 建設局 都市部
 (株)福山コンサルタント

●授業の様子



環境問題について考える授業



地球温暖化実験



PCを使った行動プランづくり



バス乗り方教室



CO2濃度調査



シャープ福山工場見学



JCOMMでの発表(駅家西小)



学習成果の発表



学習成果の展示



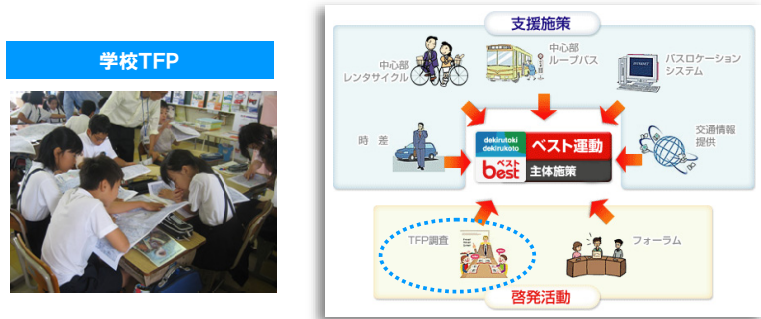
リサイクルポッドづくりの実演



メッセージカードの配布

ベスト運動の支援施策としての学校TFP

Bingo Environmentally Sustainable Transport
 (備後地域における 環境に配慮した 持続可能な かしこいクルマ使い方)



地球温暖化防止のため、習慣となっている過度なマイカー利用を見直し、家庭でのコミュニケーションを通じながら「かしこいクルマの使い方」を考え、実践していくプログラム

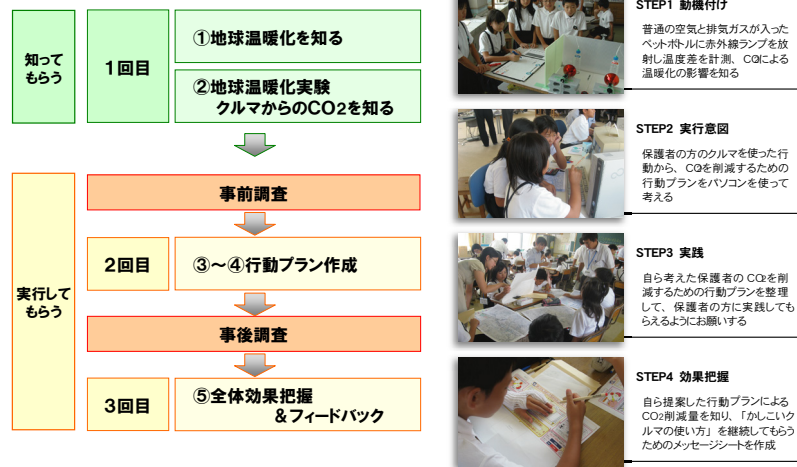
児童が作成した保護者の行動プラン

保護者へのメッセージ

保護者が実際実施した行動を記載

交通手段や所要時間等の具体的な行動プランを提案

学校TFPのパッケージ化



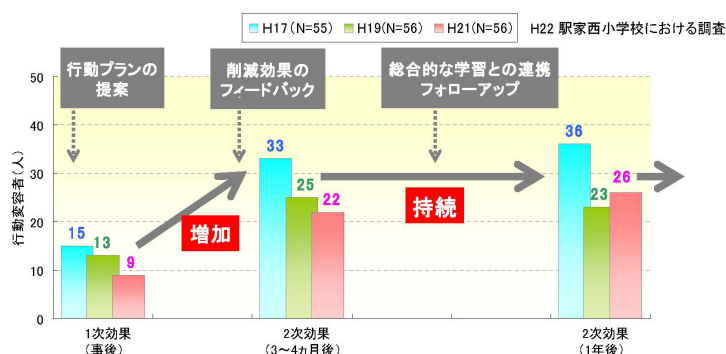
保護者へのフィードバック

行動プラン実施によるCO2削減結果を報告(フィードバック)

保護者に向けた継続のお願いメッセージ

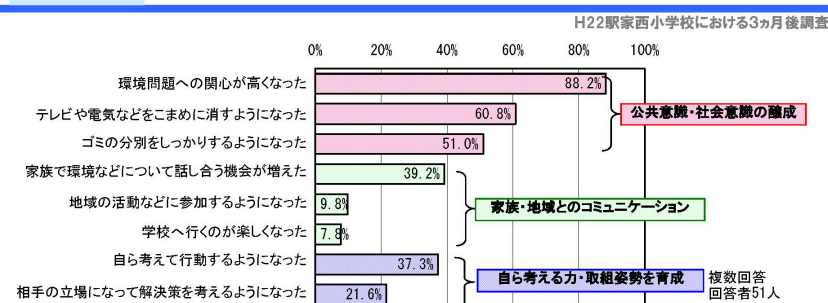
その他保護者に向けたメッセージ

学校TFPの有効性と継続性



CO2削減効果
 ・保護者の行動変化: 約40~70%以上が継続
 ・行動変化によるCO2排出量: 全体で約10%~30%削減

保護者から見た児童の変化



<保護者の感想>

- 行動プランがとても具体的だったので、実施してみようという気持ちになりました。親が実践してみせることで、子どもと環境問題を一緒に考え、話すことができました。
- 環境について考えていくことは、とても大切だと思います。実際には通学やお買い物に車を利用しないことは難しいのですが、親子で話し合う良い機会になりました。
- 子どもからCO2を削減するためアイドリングはダメと言われ、できるだけCO2の削減、リサイクル等の関心が強くなりました。

市教育委員会を通じたアプローチ

学校TFPの紹介パンフレット

紹介DVD



定例校長会での紹介

モデル校による取組	各校への展開
平成17年度 1校 平成18年度 1校 平成19年度 1校	平成22年度 4校まで拡大

まとめ

- ① 5年間の実践から小学校の総合的な学習に導入できる「学校TFPパッケージ」を完成
- ② 学校TFPが習慣となっているクルマ利用を自発的に見直してもらったきっかけとして有効
 学校TFP保護者の2~3割が行動変容、その後のフォローアップによって行動変容者は4~7割に拡大、経過1年後もそのまま継続
- ③ 学校TFP後のフォローアップにより「公共意識、社会意識の醸成」などの教育的効果が期待できる
 総合的な学習との連携で児童の自発的な調べ学習や学校外部での発表に繋げていくことが可能
- ④ 市教育委員会を通じて各学校への導入について提案
 ⇒ 導入実績は現在4校まで拡大中